



# 広島県内経済情勢報告

～広島県の経済情勢について～

平成 30 年 10 月  
財務省 中国財務局

(平成 30 年 11 月 1 日公表)

**【お問い合わせ先】**

中国財務局経済調査課(藤吉、藤田)


電話 (082) 221-9221(代表)  
(082) 223-3038(直通)

Fax (082) 221-3845

<http://chugoku.mof.go.jp/>

## 1. 総論

【総括判断】「県内経済は、平成30年7月豪雨の影響により回復のテンポが緩やかになっている」

項目	前回（平成30年7月判断）	今回（平成30年10月判断）	前回比較
総括判断	平成30年7月豪雨前は、回復しつつあったが、現時点では、まずは豪雨による地域への影響全体について十分に把握する必要がある	平成30年7月豪雨の影響により回復のテンポが緩やかになっている	









（注）基調比較は、前回7月経済情勢報告における平成30年7月豪雨（以下、「豪雨」という。）前の状況での判断と、豪雨後から足下（10月末）の状況までを含めた期間での判断との比較を行っている。

（判断の要点）

個人消費は回復しつつある。生産活動は豪雨の影響が薄まりつつあるものの、豪雨前の水準まで戻っていないなど、回復のテンポが緩やかになっている。雇用情勢は着実に改善し、人手不足感が一段と拡がっている。

【各項目の判断】

（注）平成30年10月の各項目の判断は、前回7月判断（豪雨前）以降、豪雨後から足下（10月末）の状況までを含めた期間で判断している。

項目	前回（平成30年7月判断・豪雨前）	今回（平成30年10月判断）	前回比較
個人消費	回復しつつある	回復しつつある	
生産活動	回復しつつある	豪雨の影響が薄まりつつあるものの、豪雨前の水準まで戻っていないなど、回復のテンポが緩やかになっている	
雇用情勢	着実に改善しており、人手不足感が一段と拡がっている	着実に改善しており、人手不足感が一段と拡がっている	
設備投資	平成30年度は前年度を上回る見通し	平成30年度は前年度を上回る見通し	
企業収益	平成30年度は減益見通し	平成30年度は減益見通し	
企業の景況感	「下降」超幅は縮小	「下降」超幅は拡大	
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	
輸出	前年を下回る	前年を下回る	

【先行き】

先行きについては、社会インフラの復旧等に伴い、豪雨の影響から回復していくことが期待される。ただし、人手不足による企業活動への影響や通商問題の動向を含む海外経済等の不確実性などに注視していく必要がある。

## 2. 各論

(注) 平成30年10月の各項目の判断は、前回7月判断(豪雨前)以降、豪雨後から足下(10月末)の状況までを含めた期間で判断している。

### ■ 個人消費 「回復しつつある」

百貨店販売は、豪雨、猛暑、台風などの影響で来店客数が伸びず、前年を下回っている。スーパー販売、ドラッグストア販売は、猛暑や豪雨の影響から飲料水などを中心に売上が伸び、前年を上回っている。また、乗用車販売(新車登録・販売台数)は、豪雨で被災したことに伴う買い替え需要などから、前年を上回っている。このように、個人消費は、全体では回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 高級腕時計、海外ブランド製品などの高額品は堅調であるが、豪雨、猛暑、台風の影響で来店客数が減少したことなどから、売上は低調となった。(百貨店)
- 豪雨後は、飲料水、保存ができて簡易に食べられる加工食品などの売上が伸びた。また、猛暑で、飲料、経口補水液、アイスクリーム、制汗剤、日焼け止め等の売れ行きがよかった。(スーパー)
- 記録的な猛暑の影響で、飲料水や経口補水液、塩飴、冷却素材といった熱中症対策商品がよく売れた。ただし、暑すぎたことで、蚊などの虫が少なかったのか、夏場によく売れる殺虫剤や虫刺され商品などの売れ行きは悪かった。(ドラッグストア)
- 豪雨で被災した乗用車の買い替え需要などがあり販売台数が増加した。(自動車販売)

### ■ 生産活動 「豪雨の影響が薄まりつつあるものの、豪雨前の水準まで戻っていないなど、回復のテンポが緩やかになっている」

輸送機械、一般機械、鉄鋼、プラスチック製品は、豪雨の影響により低下した生産水準が戻りつつあるものの、減少している。電気機械は、家電製品向けなどの電子部品・デバイスが堅調であり、増加している。このように、生産活動は、豪雨の影響が薄まりつつあるものの、豪雨前の水準まで戻っていないなど、回復のテンポが緩やかになっている。

(主なヒアリング結果)

- 豪雨の影響により操業を一時的に休止したことや、再開後も交通網などへの負荷に配慮した生産体制としていたが、9月上旬より通常の体制に戻し、フル操業が続いている。(自動車)
- 豪雨により設備は被災しなかったものの、サプライヤーが被災したため操業を一時的に休止した。土曜日の休みを返上することで減少分の生産台数を挽回する計画としている。(一般機械)
- 豪雨により自家発電設備の一部に重大な不具合が生じたことなどから、依然として豪雨前の生産水準まで回復していない状況である。(鉄鋼)
- 豪雨により設備は被災しなかったものの、工業用水の供給が停止したため操業を一時的に休止した。幸いにも操業度が高くない時期であったため、生産計画への影響は限定的であった。(プラスチック製品)
- 中国における環境規制の強化を背景に、空気清浄機向けセンサーの生産が堅調である。(電気機械)

### ■ 雇用情勢 「着実に改善しており、人手不足感が一段と広がっている」

有効求人倍率(平成30年6~8月)は2.12倍と、全国の1.63倍と比べ高水準で推移しているほか、新規求人数も増加しているなど、雇用情勢は、着実に改善しており、人手不足感が一段と広がっている。

(主なヒアリング結果)

- 不足している現場作業員について、募集時の給与水準を上げるなど人材の確保に努めたことに加え、従業員の負担軽減や作業効率化を図るための設備投資など、様々な取組みを行った結果、旺盛な需要に対応することができている。(一般機械)
- 受注の増加に伴い現場管理者が不足しているため、有料の求人広告を利用するなど費用を掛けているが、応募がない。(建設)
- パートが不足しており、募集するものの営業を継続できるだけの人員が確保できない。フランチャイズオーナーが人手不足の穴埋めをするのにも限度があるため、閉店を決めてしまう店舗も出てきている。(小売)

■ **設備投資** 「平成 30 年度は前年度を上回る見通し」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」平成 30 年 7~9 月期

- 製造業では、鉄鋼などで減少するものの、自動車、生産用機械などで増加することから、全体では前年度を上回る見通しとなっている。
- 非製造業では、運輸・郵便、その他のサービスなどで減少するものの、金融・保険、小売などで増加することから、全体では前年度を上回る見通しとなっている。

(主なヒアリング結果)

- 新型車に対応するための開発投資を行う。(自動車)
- 店舗建て替えに関する投資を予定している。(金融・保険)

■ **企業収益** 「平成 30 年度は減益見通し」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」平成 30 年 7~9 月期

- 製造業では、その他の輸送用機械、生産用機械などで増益となるものの、その他製造、電気機械などで減益となることから、全体では減益見通しとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、運輸・郵便、卸売などで増益となるものの、建設、小売などで減益となることから、全体では減益見通しとなっている。

■ **企業の景況感** 「『下降』超幅は拡大」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」平成 30 年 7~9 月期

- 企業の景況判断 BSI は、「下降」超幅が拡大している。なお、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、給与住宅が増加しているものの、分譲住宅、貸家などが減少していることから、前年を下回っている。

■ **輸出** 「前年を下回る」

- 県内通関実績(円ベース)で見ると、輸出は、自動車、船舶などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、北米、中南米などで減少している。

なお、輸入は、石油製品、木材などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、中東欧・ロシア等などで増加している。

# 広島県内経済情勢報告

(平成30年10月)

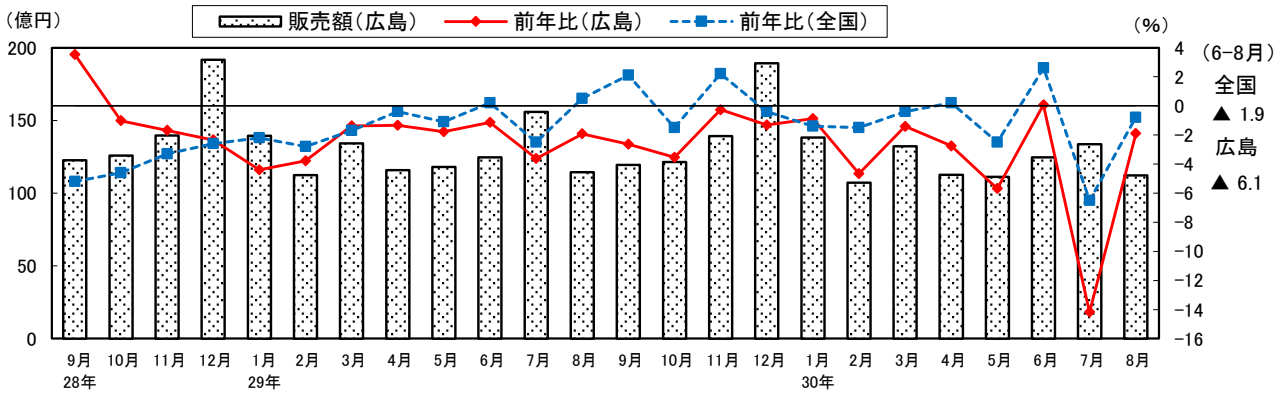
## 資料編

	目次	ページ
1.	個人消費	1
2.	生産活動	3
3.	雇用情勢	4
4.	設備投資	5
5.	企業収益	6
6.	企業の景況感	6
7.	住宅建設	6
8.	輸出	7

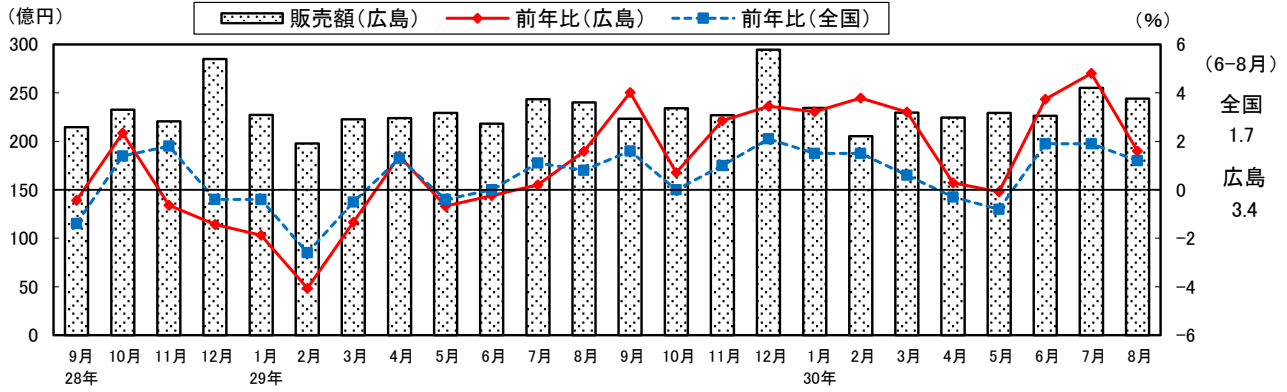
\*上記の項目ごとに掲載しているグラフの枠外（右側）に記載している計数は、当該項目の状況を分析する上で参考とした前年比。（但し、生産活動は鉱工業生産指数及び前期比、雇用情勢は有効求人倍率を記入。）

# 1. 個人消費 回復しつつある

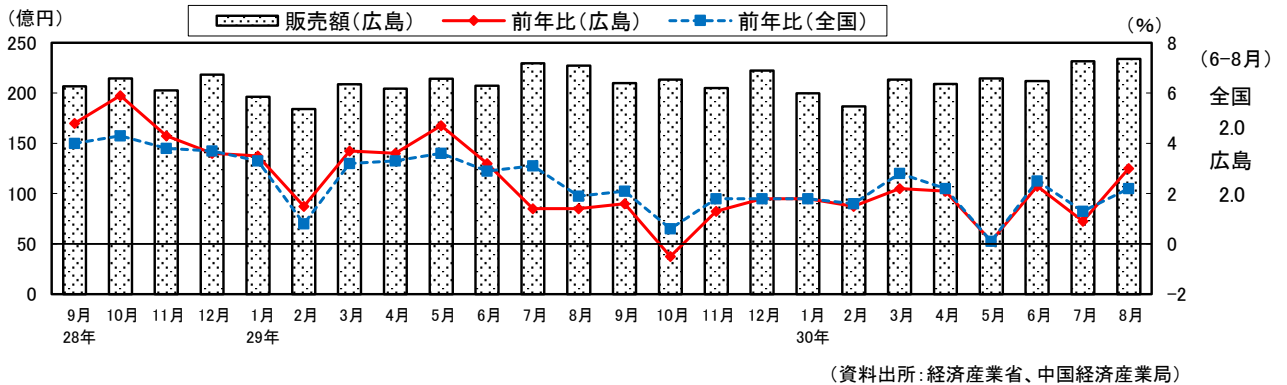
## (1) 百貨店販売額(全店舗)



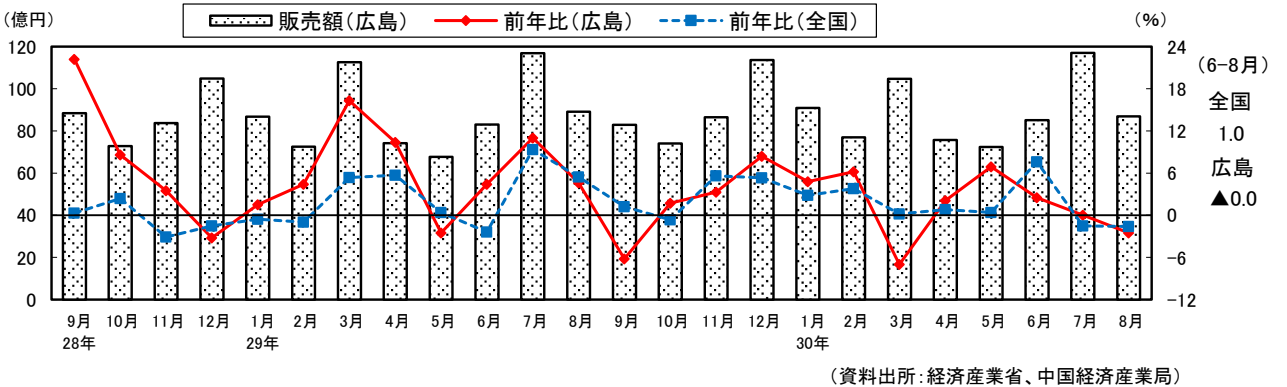
## (2) スーパー販売額(全店舗)



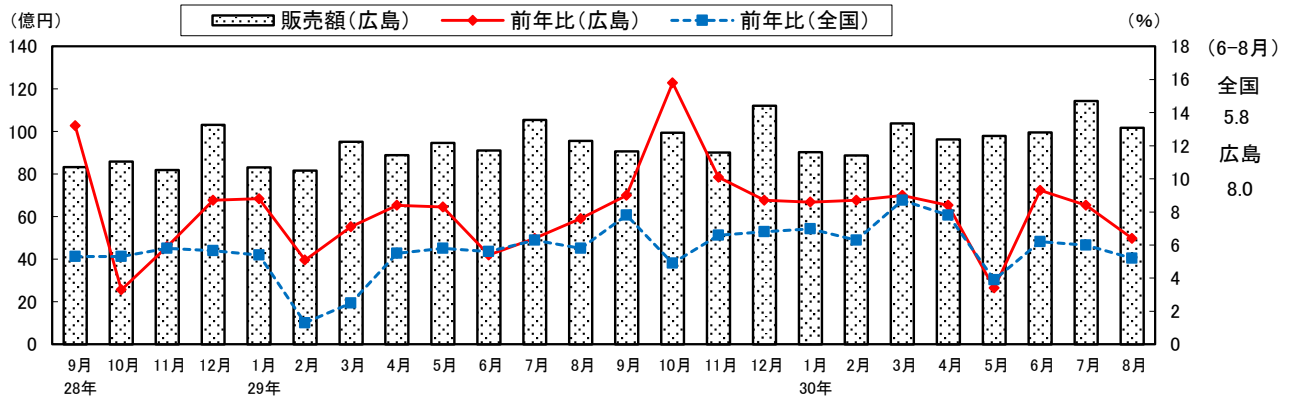
## (3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



## (4) 家電大型専門店販売額(全店舗)

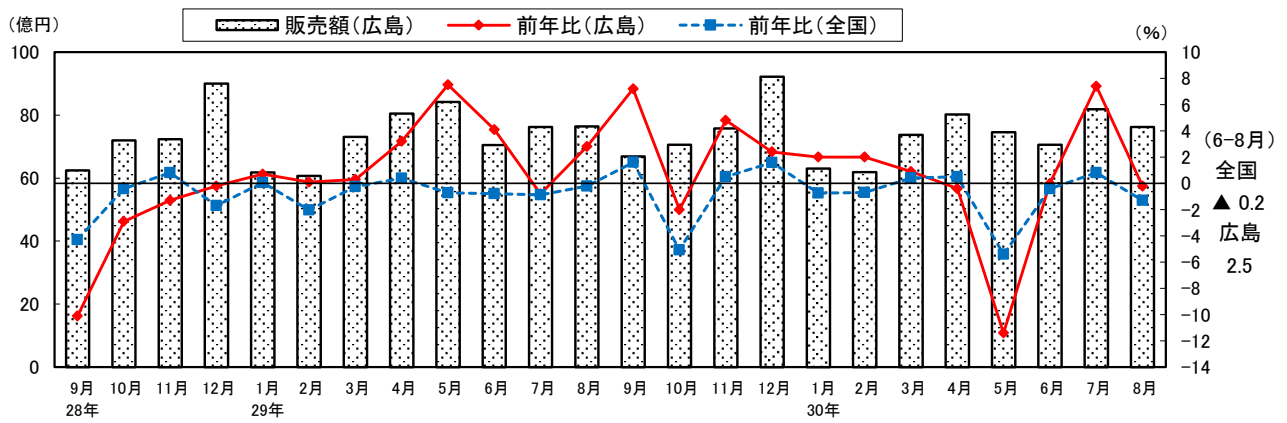


(5) ドラッグストア販売額(全店舗)



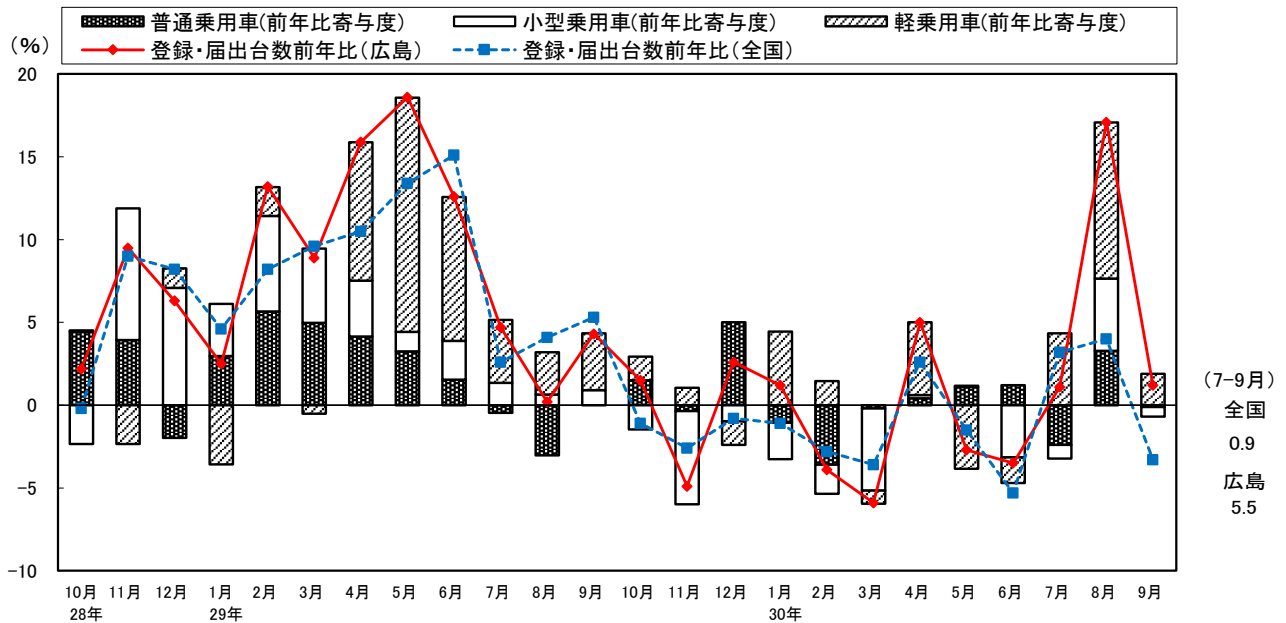
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(6) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

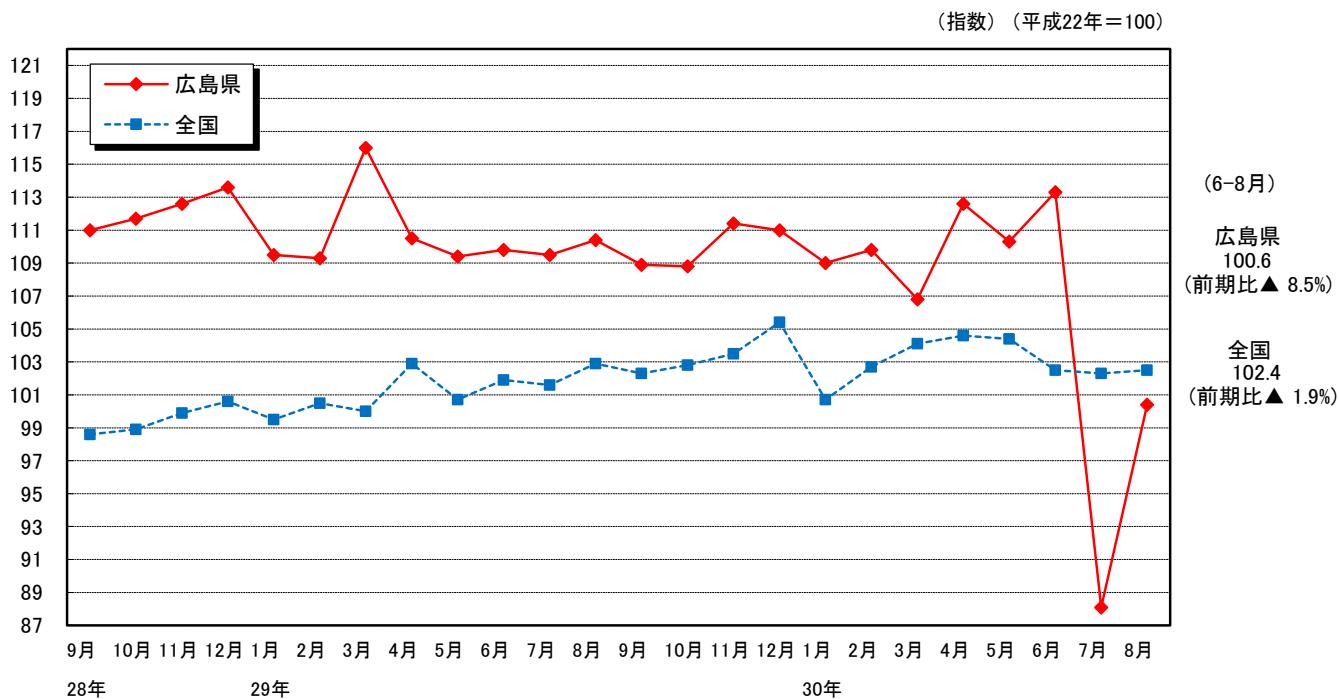
(7) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



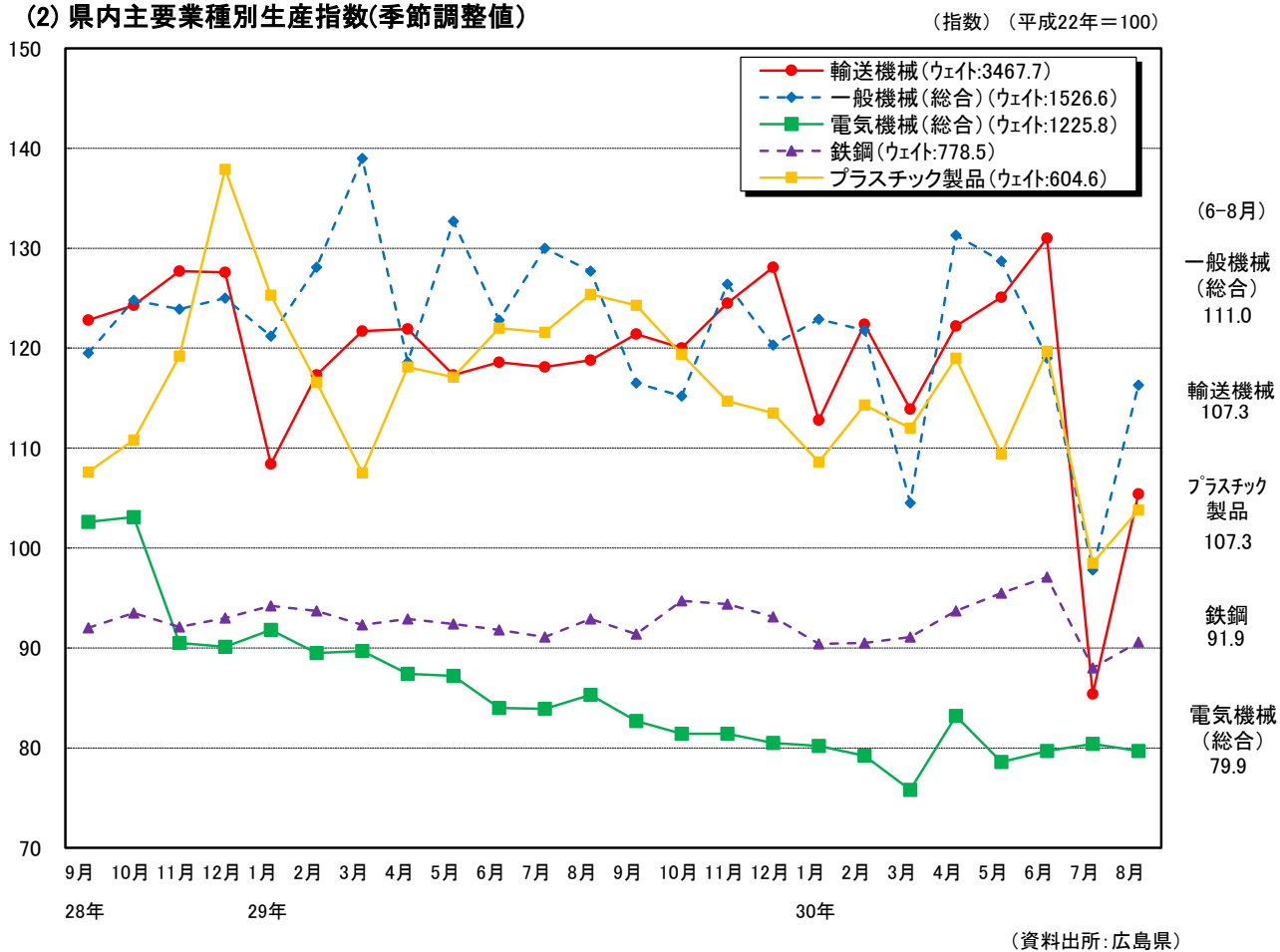
(資料出所: 中国運輸局)

**2. 生産活動** 豪雨の影響が薄まりつつあるものの、豪雨前の水準まで戻っていないなど、回復のテンポが緩やかになっている

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)



(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

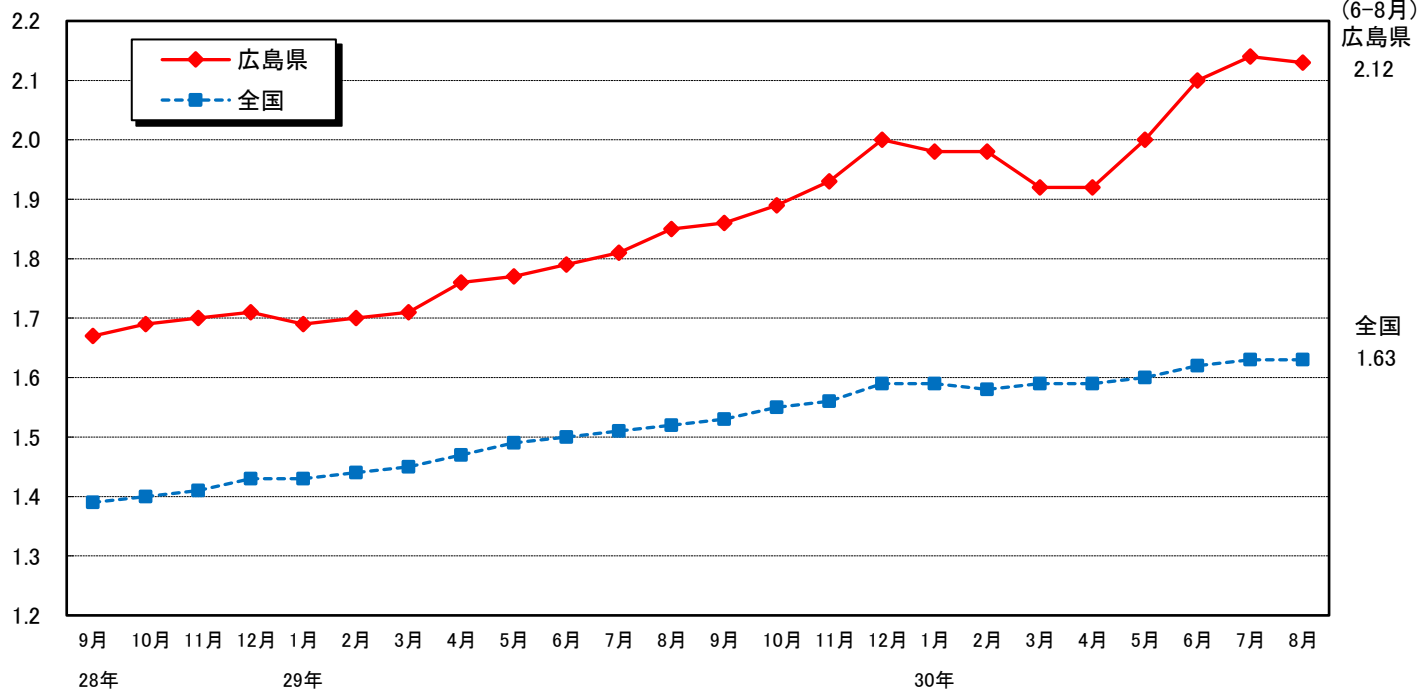




### 3. 雇用情勢 着実に改善しており、人手不足感が一段と広がっている

#### (1) 有効求人倍率(学卒を除く、季節調整値)

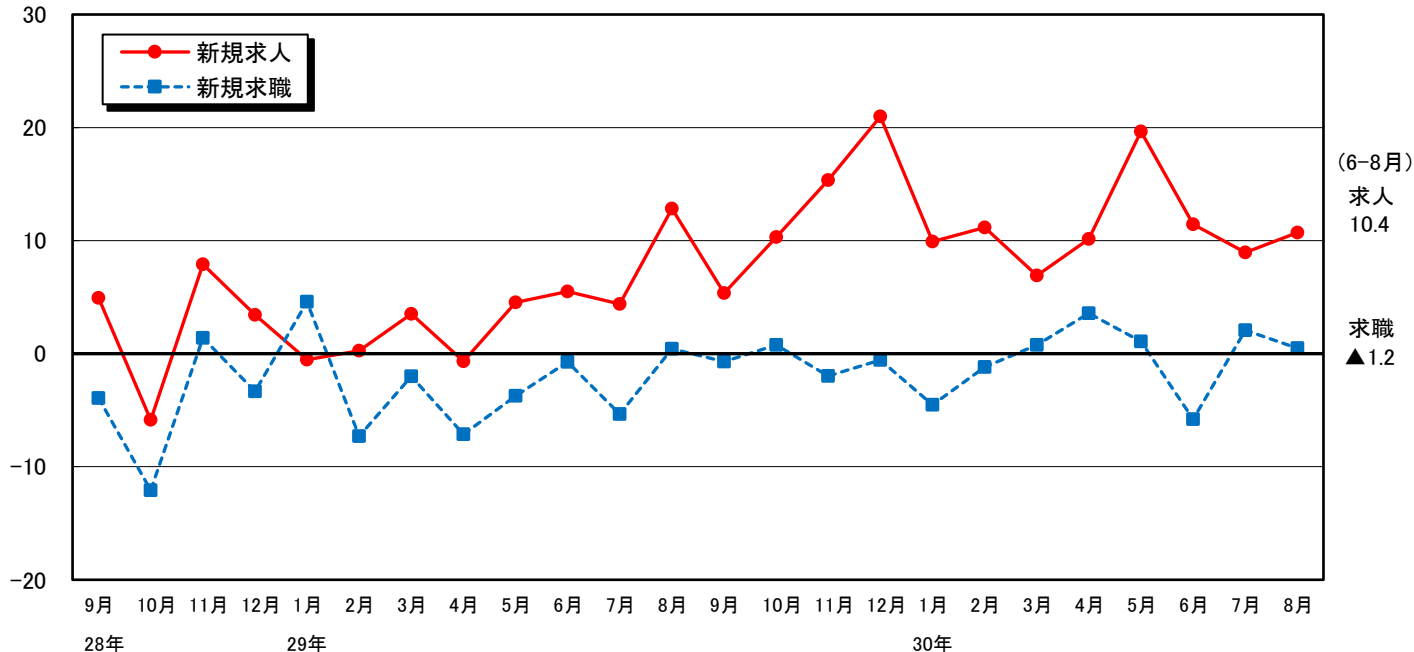
(倍)



(資料出所:厚生労働省、広島労働局)

#### (2) 新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比

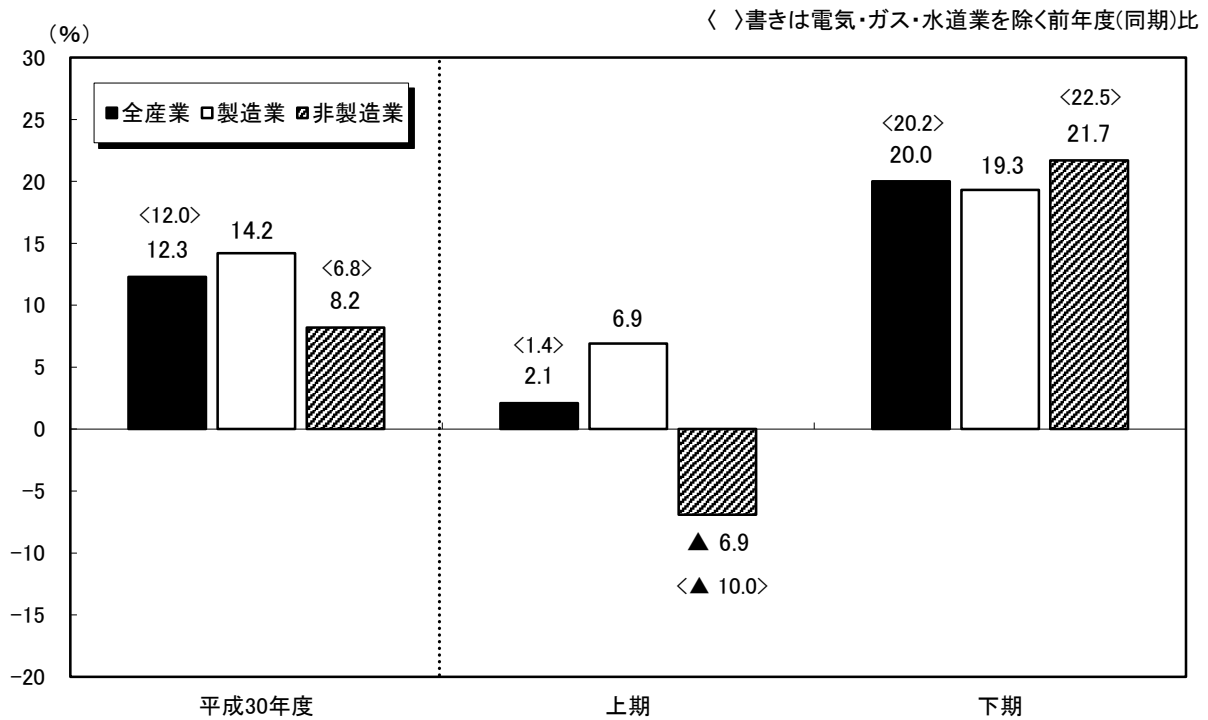
(%)



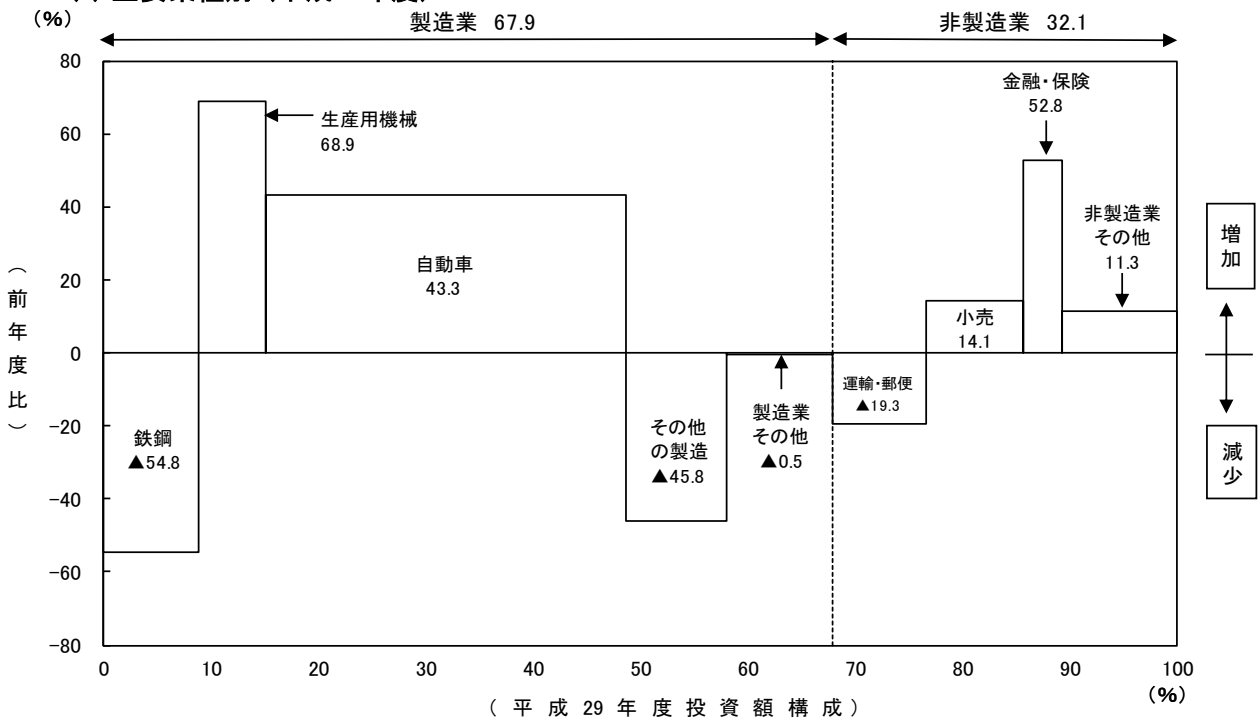
(資料出所:広島労働局)

## 4. 設備投資 平成30年度は前年度を上回る見通し

### (1) 設備投資額(前年度(同期)比)

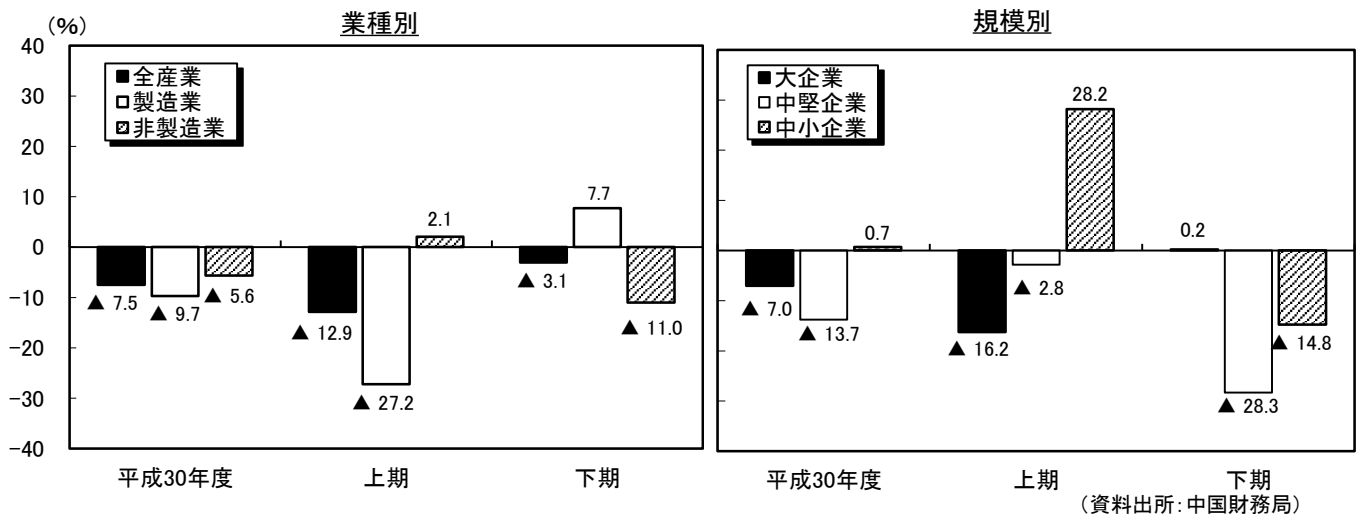


### (2) 主要業種別 (平成30年度)



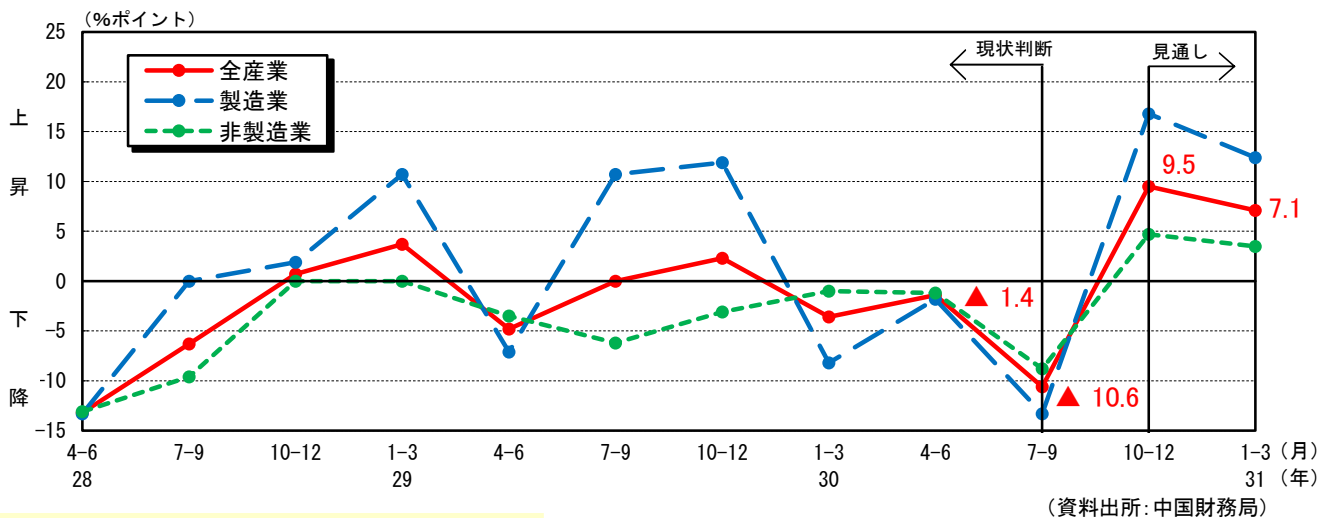
## 5. 企業収益 平成30年度は減益見通し

経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く：前年度(同期)比)



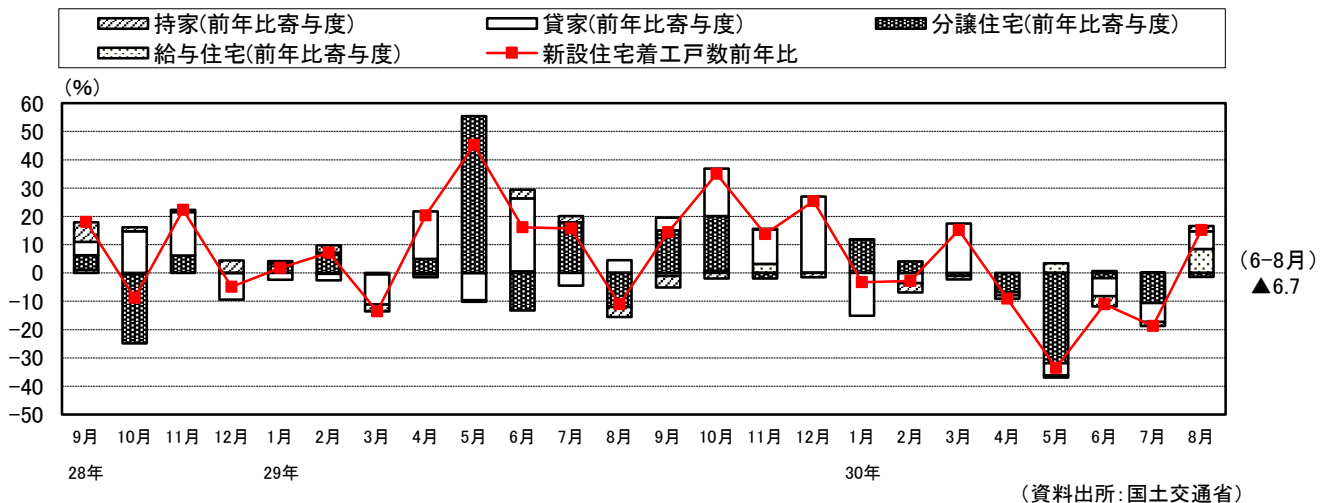
## 6. 企業の景況感 「下降」超幅は拡大

景況判断BSIの推移(原数値) (BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



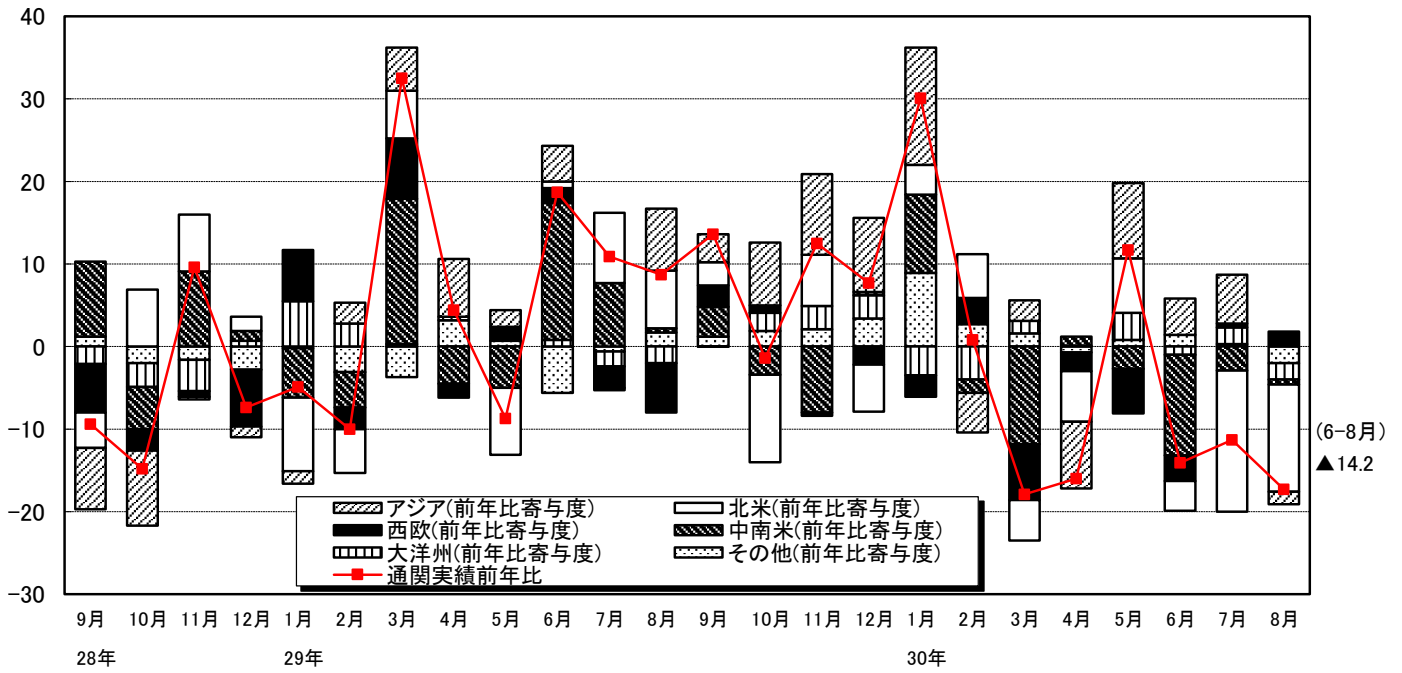
## 7. 住宅建設 前年を下回る

新設住宅着工戸数(前年比)



## 8. 輸出 前年を下回る

輸出(円ベース)  
(%)



### <参考>

輸入(円ベース)  
(%)

